

この世の中を自然に、または感情的に見た時に、私は座って腕組みをし、「あまり良くないな」と言わざるを得ないでしょう。ニュースを付ければ世界中で様々な事件が起こり、今にも世界規模のホロコーストの火の玉が爆発しそうです。この国を見ても、多くの嘘、争い、口論、意見の食い違いからの暴動などが聞こえてきます。そして立ち止まれば、犯罪の程度のひどさ、入ってくるドラッグの量、殺人、レイプ、種々の犯罪のレポートが絶え間なく入ってきます。このような話ばかり聞いていると落ち込んでしまいますね。現に今私がこんな話をしたために気がめいってしまった方もいらっしゃるでしょう。あるいはあまりこういうことを考えないようにしてニュースに関わらないようにしている方もいらっしゃるかもしれません。

そこで今日のメッセージのポイントです。私の立場から言わせていただくと、皆さん全員イエス様のチームに属しています。中途半端な信仰というのはないのです。アメリカで日曜日に教会に来ているクリスチャンはイエス様に真に従う者として必ずしも良い見本とは言えないかもしれません。私が会ったことがある人の中にも、教会に来るとするのは日曜日だけのことで、月一金は現実の生活に戻る、と言っていた人たちがいました。良い収入があって家族を養い、退職後の積み立てをすれば、それが彼らの役目なのです。しかしそれで終わってはいけません。それらも大切なことですが、人生にはお金を稼ぐことや老後に十分なお金があること以上にもっと大切なことがあるのです。

1. それでは良い知らせをお話ししましょう。まずは「良い知らせ」という意味について見てみます。
  - a. ストロング聖書コンコードダンス 2098 番—ギリシャ語では「ユアングリオン」で、「良い知らせ」または「福音」という意味。これには幅広い意味があり、どうしたら天国に行けるか、という説明だけではない。
  - b. イエス様は私たちに「良い知らせ」をもたらせてくださった。「悪い知らせ」ではない。
2. イエス様ご自身による福音の定義（イザヤ 61:1-3、ルカ 4:18-19）は「良い知らせ」である。イエス様が来てくださったのは
  - a. 柔和な人に良い知らせを宣べるため
  - b. 失意の中にある人に良い知らせを宣べるため
  - c. 束縛された人に良い知らせを宣べるため
  - d. 刑務所に入っている人に良い知らせを宣べるため
  - e. 目の見えない人に良い知らせを宣べるため
3. 貧しい者にイエス様は福音を宣べてくださりその人には天の御国が与えられる
4. 柔和な者にイエス様は福音を宣べてくださりその人は地を相続する
5. 義に飢え渴く者にイエス様は福音を宣べてくださりその人は満ち足りる
6. あわれみ深い者にイエス様は福音を宣べてくださりその人はあわれみを受ける
7. 心のきよい者にイエス様は福音を宣べてくださりその人は神を見る
8. 平和をつくる者にイエス様は福音を宣べてくださりその人は神の子どもと呼ばれる

この地上のすべての人に福音は与えられています。この地球も人類も煙に消えるわけではありません。私たちはイエス様が大きい力と権威を与えてくださった生ける神の教会なのでから居ても立ってもいられないはず。隣の人に伝えましょう。近所全体に伝えましょう。町の反対側、さらに町全体に宣伝伝えましょう。この福音がどこまで広がっていくか想像できますか？それは法律や人間が作ったルールや、海や陸、何のものにもさえぎられるものではありません。私たちはイエス様にあって自由です。それが良い知らせなのです。アーメン！